

県民の あゆみ

県民のみなさまへ(p.2)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するために

特集1 (p.3)

第4次山形県総合発展計画を策定!

特集2 (p.4)

令和2年度当初予算について

奏であう人(p.8)

笑顔で暮らせる地域づくり

2020

5

No.615

令和2年5月号

山形県広報誌
令和2年5月号

5
No.615

奇数月1日発行 編集発行◎山形県広報誌推進課
〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号 ☎023-630-2534

表紙題字 | 山形県知事 吉村美栄子
県ホームページアドレス <http://www.pref.yamagata.jp/>



「リサイクル」属性
この冊子は、印刷用紙に
リサイクル紙を使用しています。

起業家を応援し、独立を支援する施設「LIGHT HOUSE」(酒田市)のシェアオフィスに
入居している若き創業者の皆さん。県では、これからの山形を背負って立つ、新たな
産業経済の担い手をさまざまな施策で支援しています。(撮影協力:日本西海岸計画)

やまがた でん せつ 伝説 DENSETSU

こく ほう き ちよう い せき し
国宝や貴重な遺跡で知る!
ゆたかな自然の恵みが育んだ
やま がた じようもん ぶん か
山形の縄文文化!



たかはたまち ひなた どうくつ
高富町の日向洞窟をはじめとする洞窟遺跡群は、樹林の
おくにあり、江戸時代には「鬼の岩屋」と恐れられ、立ち入り
を禁じられていました。昭和30年から発掘調査が行われ、
ていじゆうせいかつ はじ
定住生活が始まった縄文時代から平安時代まで、何千
年もの間、住居として使われていたことが判明しました。
あいだ じゆうきよ つか
14か所もの洞窟遺跡が密集しているのは全国でもめず
しく、これまで縄文時代の始まりと考えられていた「早期」
よりも、さらに早い「縄文草創期」の存在を示した最初の
遺跡としても注目されています。



遡上してくるサケも
食べていたんだって!

ゆざ ちようかいざん み
遊佐町の小山崎遺跡で見つかった「水辺の施設」は、集
らくと水辺をつなぐ石敷きの道と作業場の跡です。遺跡から
はサケの歯や骨なども確認されています。水辺を利用して
いた形跡から、鳥海山の水の恵みや周辺の自然環境を生か
して、魚介や動物と植物の両方を食べていたことが分かる
全国でも非常に珍しい遺跡です。今年3月には、縄文人の
豊かな暮らしを知ることが出来る貴重な遺跡として、国の
史跡に指定されました。



1
万
年
以
上
も
前
か
ら
続
く
生
活
の
痕
跡
な
ん
だ
っ
て!

ふながた にしの まえ
舟形町の西ノ前遺跡で「縄文の女神」が発見
されたのは、平成4年のことです。高さは
45cm、重さは3,155gもあり、完全な形に復元
された土偶として日本で最も大きいものです。
すらりとした体形、繊細な模様、安定して自立
する形など、学術的にも造形的にも注目を集
め、ヨーロッパや中国の上海など海外でも展示
されてきました。また、西ノ前遺跡は狩猟に使
う石器の出土が驚くほど少ないことから、植物
中心の食生活だったと推測され、狩りのリスク
をさけて暮らしていたと考えられます。



日本最大の土偶なんだって!



縄文時代に
山形で暮らしていた
大先輩たちに学ぶ
縄文文化について話をお聞きした
原田 俊彦 さん
県立博物館 学芸課 考古学担当(取材時)

縄文時代は1万年以上続いた長い時代
です。県内には貴重な遺跡が多く、人間
と自然が共生して豊かに生きたお手本と
して見る事ができます。縄文時代やそ
れ以降の歴史も含めて、山形を知るき
かけにぜひ博物館を利用してください。

